

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 矢 尾 板 裕 介
(コード番号：2743 東証スタンダード)
問 い 合 せ 管 理 本 部 長 柳 世 和 大
<https://pixel-cz.co.jp/contact>

上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2024年12月期において、株式会社東京証券取引所（以下「東証」と言います。）の定める東証スタンダード市場の上場維持基準を充たしていなかったことから、下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画についてお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2024年12月期における東証グロース市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、「純資産」が基準を充たしておりません。なお、改善期間は、2025年12月末迄であり、2025年12月末時点において、上場維持基準を充たす（純資産の額が正である）必要がございます。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時 価総額 (百万円)	流通株式比 率 (%)	純資産の額 (百万円)
当社の状況 2024年12月 末時点	25,469	78,309	6,720	84.55	△369
上場維持基 準	400	2,000	1,000	25.00	純資産の額が 正であること
適合状況	適合	適合	適合	適合	不適合
改善期間					2025年12月末

※当社の適合状況は、東証が基準日現在で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※流通株式時価総額は、事業年度末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値に流通株式数を乗じて算出しております。

※純資産の額基準について、次の基準日である2025年12月31日までに適合（純資産の額が正となる）見込みである旨の開示ができなかった場合には、東証より監理銘柄（確認中）に指定され、2025年12月期の有価証券報告書に掲載される連結財務諸表の内容を踏まえた東証による適合判定の結果、純資産の額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定された後、当社株式は上場廃止となります。

2. 経緯

当社グループの2023年12月期末時点の純資産は、425百万円の正となっておりますが、2024年12月期連結累計期間において、多額の営業損失及び特別損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失2,492百万円を計上したことにより、2024年12月期末時点における当社の連結純資産は、△369百万円となりました。

3. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

(1) 資本政策の実行

当社は、2024年5月13日に新株式の発行および第15回新株予約権の発行を行い、これに関する詳細は2024年4月19日付「第三者割当により発行される新株式及び第15回新株予約権の募集に関するお知らせ」にて公表しております。さらに、2024年12月24日および2025年2月27日には、新株予約権合計44,400個の一部譲渡承認を実行しており、これについてはそれぞれの譲渡に関するお知らせにて開示済みです。

その後、2025年1月31日に7,407個（純資産増加額99百万円）、2025年2月13日に14,814個（199百万円）、2月27日に14,779個（199百万円）、3月6日に3,703個（49百万円）、そして3月7日に3,697個（49百万円）の権利行使が行われ、これら一連の新株予約権の権利行使により資本増強が図られ、純資産の改善が進んでおります。

今後においても引き続き、残存する新株予約権の行使可能性を踏まえた対応を行い、さらなる資本増強と財務基盤の健全化を推進してまいります。

(2) データセンター事業による収益拡大

当社では、成長戦略の中核として位置付けているAI特化型データセンター事業の本格始動により、継続的な収益成長を計画しております。本事業の成長にあたっては、大熊データセンターの開業が必須であり、開業に向けてGPUサーバーの購入および設置工事、ならびにネットワーク機器の購入および設置工事の全工程完了が必要となります。具体的には、GPUサーバー及びネットワーク機器について、2025年7月上旬までの発注、2025年7月末までの納入・設置工事の実施を予定しており、2025年9月からの稼働開始を目指しております。

現時点において、GPUサーバー及びネットワーク機器の購入に係る資金については、関係機関と複数の資金調達手段を並行して協議・検討している状況です。

なお、上記スケジュールに遅れが生じた場合には、データセンターの稼働時期が後ろ倒しとなる可能性があり、結果として、当社の上場維持基準（純資産の額）への適合に向けた収益寄与のタイミングが遅れる可能性があることも認識しております。今後も進捗状況を適切に把握しつつ、資金調達の確実な実行と工程管理の強化により、計画どおりの稼働実現に向けて取り組んでまいります。

また、顧客獲得の取り組みとしては、日本国内において営業活動を進めているほか、2025年3月14日付「ピクセルカンパニーズ株式会社、INFRAPRO AI PTE. LTD. と基本合意契約を締結」にて開示のとおり、日本国内に限らず海外市場も視野に入れたAI特化型GPUクラウドサービスの展開を推進してまいります。

さらに、AI・デジタル分野の需要拡大を背景に、現在行っている日本国内外へのGPU販売やAI特化型コンテナ型ソリューションの提供を一層強化することで、今後も安定的かつ持続的な収益基盤の確立を目指してまいります。

4. 今後の方針と株主価値向上への取り組み

当社は、財務基盤の強化と成長事業の拡大を両輪とし、株主価値の最大化に向けた施策を継続してまいります。特に、2025年10月稼働を目指しているAI特化型データセンター事業本格始動を通じ、持続的な企業価値向上と収益性強化を実現することを最優先課題の一つとして取り組んでおります。

また、引き続き資本政策の最適化とコスト構造の改善を進め、企業体質の強化を図ることで、長期的な成長と安定した収益基盤の確立を目指します。

これらの施策を通じ、2025年12月期末時点においても純資産の額が「正」となる状態を維持できるように取り組み、さらなる成長フェーズへと移行していく方針です。

今後も、投資家の皆様に対し、適時適切な情報開示を行いながら、企業価値向上に努めてまいります。引き続き、当社の取り組みにご期待いただきますようお願い申し上げます。

以上